

道路政策の技術研究開発

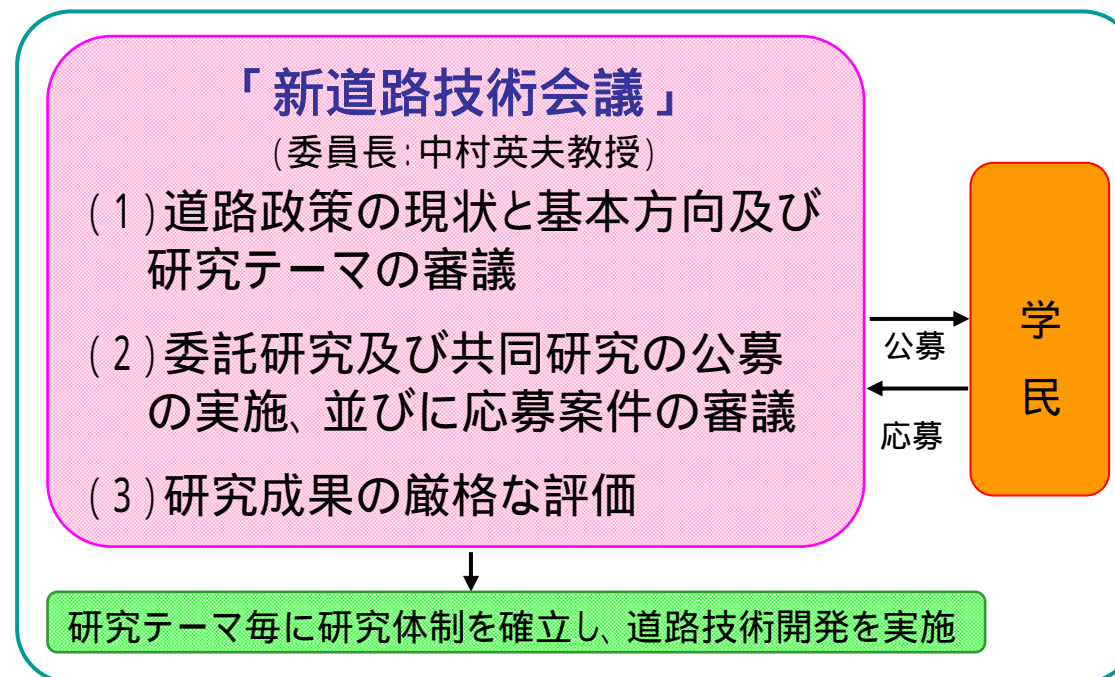
- 「産・学・官の連携・政策対応型」への転換 -

今まで

「新道路技術5箇年計画」(H10～H14)

H16年度～

- (1) 「学」の知恵、「産」の技術が幅広い範囲で融合する自由度を持つ10の「政策領域」を設定。
- (2) 個別の「政策領域」毎に、研究所も参加し、「政策の現状と基本方向」を策定。
- (3) 学識経験者から構成される「新道路技術会議」を開催。



10の政策領域

「知恵」と「技術」を幅広く取り込む政策領域を設定
改革

(領域1) 新たな行政システムの創造

例)

道の創出すべき価値の明確化、経済と道路投資、施策・事業等の評価システム、データに基づく行政運営、社会とのコミュニケーション手法等

活力

(領域2) 道路ネットワークの形成と有効活用

例)

幹線道路ネットワークと国土、都市形成の関係に関する研究、料金政策等による効率的なネットワークの利用促進、総合的な渋滞対策、地域の活性化や都市再生に資する道の活用戦略等

(領域3) 新たな情報サービスと利用者満足度向上

例)

ITS等新技術を活用した道に関わる情報政策、物流システム等産業界との連携システム、新規産業創出の支援等

(領域4) コスト構造改革

例)

道路工事の外部不経済の予測、地震等外力に合理的に対応した設計等

暮らし

(領域5) 美しい景観と快適で質の高い道空間の創出

例)

地域の伝統、文化等特性を生かした道路空間の形成、電線類地中化の整備手法、バリアフリー施策、駐車場・歩行空間等における住民参加型のまちづくり手法等

安全

(領域6) 交通事故対策

例)

道路交通事故の要因分析・評価手法、AHS等新技術による安全運転支援、交通弱者の安全確保方策等

(領域7) 防災・災害復旧対策

例)

地震、津波、豪雨・豪雪、斜面崩壊等自然災害に対する人命・財産の保全、災害復旧、危機管理方策、IT等新技術の導入による緊急時における道路管理の高度化等

(領域8) 道路資産の保全

例)

道路管理サービスの水準と負担のあり方、各種道路構造物等の性能・健全度の検査及び評価システム、合理的な更新投資戦略、効率的な補修・補強手法の開発等

環境

(領域9) 沿道環境、生活環境

例)

騒音、大気保全等沿道の環境改善対策、環境調和型道路構造の研究、関連する予測手法の研究、合理的な沿道環境の評価のあり方等

(領域10) 自然環境、地球環境

例)

貴重な動植物の保全方策、地球環境と自動車交通の調和方策、都市空間・社会全体の環境負荷の低減方策、緑のネットワーク化等

テーマ毎に具体的かつ継続的な産学官の連携推進

テーマ毎の産学官連携委員会 （「コンソーシアム」）

学識経験者、民間、
国土技術政策総合研究所
独立行政法人土木研究所
国土交通省本省・地方整備局、公団 等

地方整備局の参画
（社会実験、実証実験等）

委託研究 共同研究等実施

大学
（建設・環境、情報系）

大学
（人文・社会科学系）

民間（建設系）

民間
（経営コンサル、広告代理店等）

NPO・公益法人 等

「新道路技術会議」での厳格な評価の実施

平成17年度は選定された委託研究 8 課題を実施

番号	研究テーマ	政策領域	公募タイプ
1	モビリティマネジメント：社会心理学的アプローチに基づくコミュニケーション型TDM	1	
2	市民参画型道路計画体系の提案と道路網計画における対話技術の開発	1	
3	道路機能に対応した性能目標照査型道路計画・設計手法論の研究開発	2	
4	道路機能に基づく道路盛土の経済的な耐震強化・補強技術に関する研究開発	4	
5	集客地の活性化に資する、道路のホスピタリティ表現手法についての研究開発	5	
6	市民参加型交通安全対策・評価システムの実用化に関する研究	6	
7	ASR劣化構造物安全性能評価手法の開発	8	
8	多機能検査車走行による道路構造物の健全性評価	8	

公募タイプ : 現在の道路行政の重点課題の解決に資する研究 (政策実現型)

公募タイプ : 技術的課題の画期的な解決を目指す研究 (技術ブレイクスルー型)

公募タイプ : 政策横断的な視点から道路行政の新たな政策領域を提案する研究 (新政策領域創造型)